



国政選挙で語られていない9条改憲の 自民党総裁選での争点化は許されない

自民党の総裁選で安倍首相と石破元幹事長が、改憲について持論をぶつけました。石破氏は9条2項の戦力不保持と交戦権否認を削除し、新たに国防軍を設けるとする自民党の改憲草案(2012年)を挙げるのに対し、安倍氏は、9条1、2項を残し、新たに9条の2を設け、自衛隊を明記する、自民党改憲推進部会案を持ち出しました。

安倍案は、石破案に比べ穏やかで、自衛隊の現状を維持するかのように見えます。しかし、「自衛隊を明記する」とは、「自衛の措置を取るために、実力組織として自衛隊を保持する」ことを憲法に書き込むことを指しています。

2015年9月に安倍政権が強行成立させた安保法制(戦争法)のもとでは、「自衛の措置」には、自国の安全を守る権利を保障する「個別的自衛権」の行使と、日本が攻撃されていないのに他国への攻撃に反撃する「集団的自衛権」の行使が含まれます。したがって、自衛隊が憲法に明記されるや、自衛隊はその任務や権限、活動範囲が拡大し、海外での武力行使に駆り出されます。まさに、日本が海外で戦争する国になるのです。一昨年、戦争法に基づいて派遣された南スーダンの自衛隊の状況は、最近明らかにされた情報では危険なものでした。「戦闘行為はなかった」とする安倍政権側に対して、隊員らは「戦争だった。部隊が全滅すると思った」と証言しています。

主権在民、基本的人権の尊重、平和主義を基本とする憲法を持つ国は、戦争する国にはなりえません。だから、安倍の改憲の行き着く先は、必然的に自民党の改憲草案になります。

総裁選での9条改憲の争点化は国民の意識とかい離しており、「国民の信任を得た」との安倍氏の発言は許されません。改憲案を国会に提案させない、国会発議をさせないため、全国の仲間とともに、今進めている3000万署名を成し遂げる必要があります。踏ん張りどころです。がんばりましょう。



(代田2丁目・坂本 功)

改憲阻止 区内全駅一斉宣伝署名行動

9月14日～15日、9条改憲阻止!世田谷区内・全駅一斉宣伝署名行動が取り組まれた。代田・九条の会は、14日18:00～19:00下北沢駅オオゼキ前で、生かそう憲法!今こそ9条を!世田谷の会と合同で行動。参加者は、全体で26名、代田・九条の会からは8名が参加。黄緑色のジャンパーが人目を惹き人数も多かったこともあり署名は72筆でした。世田谷区内では延べ294名が参加し、758筆の署名が寄せられました。

駆け寄ってきた中年の女性は「自民党総裁選で安倍首相が秋の臨時国会に改憲案を提示すると言っているがとても怖いです」と署名。

この日九条の会は、国会内で記者会見し3000万人署名を大きく前進させることを訴える「9条改憲NO!の巨大な世論の輪を」を発表。臨時国会を改憲の場にさせず、次期通常国会で改憲発議を許さず、来年の参議院選で改憲派の3分の2の議席を阻止し安倍内閣を退陣に追い込むことを呼びかけた。

代田・九条の会の皆さん、知人、友人、さらには年賀状交換をしている人などへの署名を訴えましょう!

(代田5丁目・小澤 清子)

日本国憲法(抜粋)

第9条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇または武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

2. 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。

国の交戦権は、これを認めない。

書評「九条の会 — 新しいネットワークの形成と蘇生する社会運動」

飯田 洋子 著

「九条の会」運動そのものを主題として書かれた本はこれまでなかったので、本格的に研究したものは本書が初めてといえる。

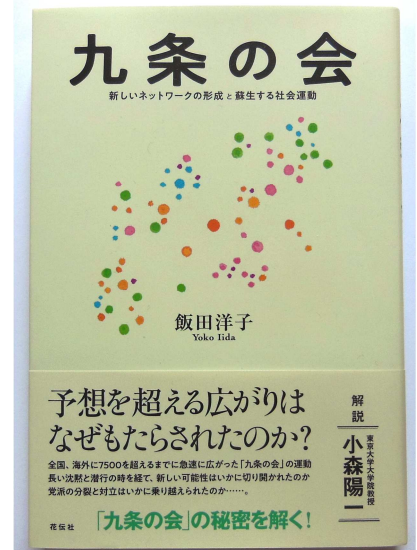
著者の飯田 洋子氏は、ハワイ大学に籍を置く社会運動の研究者である。

2004年6月10日に、井上ひさし・梅原猛・大江健三郎・奥平康弘・小田実・加藤周一・澤地久枝・鶴見俊輔・三木睦子ら9人の知識人（現在は、梅原・大江・澤地の3氏のみ生存）が、「日本と世界の平和のために、日本国憲法を守るという一点で手をつなぎ、『改憲』の企てを阻むため、一人ひとりができるあらゆる努力をいまず始めることを訴える」という「九条の会アピール」を出した。それを受けて初めの一年の間に3000以上の草の根の「九条の会」が全国の各界・各地に自発的に結成され、その後の数年間で7500に達した。

わたしたち、代田・九条の会もそれに呼応して2008年11月3日に結成されたものである。

そこで、なぜ・どのようにしてこの運動が急速に発展したのかを、社会運動研究の概念と理論を使って解明しようとしたものである。そして、本書では、「60年安保闘争」から「70年安保闘争」にいたる運動を担った世代が30年以上の潜在期間を経て「九条の会」運動を担ってきたと結論づけている。代表的な、神奈川・広島・宮城・京都・沖縄・福島のネットワークを取り上げ、その主要メンバーにインタビューしてそれぞれの活動ぶりを研究している。

しかし、それぞれの草の根の「九条の会」はそれぞれが創意工夫して活動しているので、統一した組織体とは言えない。東京では、九条の会東京連絡会がネットワークとしてバックアップしているが、それぞれが継続性の問題、財政問題などを抱えながらの活動で道のりは険しい。
(代田5丁目・野間口 至)



(2018年 花伝社 1500円)

集会等の紹介

9月29日(土) 午前10時～

世田谷区民集会&ピースパレード

会場：世田谷区役所 噴水前 三軒茶屋までパレード

主催：戦争させない！9条こわすな！世田谷連絡会

11月3日(土・休日) 午後2時～

安倍9条改憲NO！全国市民アクション 国会前大集会

主催：実行委員会(総がかり行動実行委員会、九条の会などで構成)

11月10日(土) 午後1時半～ 世田谷九条の会創立13周年のつどい

講演：伊藤 真さん(弁護士、九条の会世話人)

会場：成城ホール

11月24日(土) 午後1時半～ 代田・九条の会創立10周年のつどい

講演：清水 雅彦さん(日本体育大学教授・憲法学、九条会世話人)

(会場は折衝中です。ニュース次号でお伝えします)

連絡先 代田・九条の会 企画



お願い：ニュースの原稿を募集しています。400字位で、お近くの世話人までお寄せください。

また、活動費用に充てるためのカンパをお願いします。

～ 私たちが住み、暮らし、働いているまち 代田で、
「日本国憲法第9条」をまもり、活かす活動をすすめましょう ～